

LY72 表示分解能(極性)の変更

表示分解能の変更操作は、変更する目的と条件によって操作方法が違います。

変更する目的と条件を下表から選び、操作を行ってください。

変更する目的	操作	説明
測長ユニット分解能を変更する	基本設定 ⇒ 測長ユニット分解能 ⇒ 変更	基本設定で測長ユニット分解能を変更します 続けて、詳細設定で表示分解能も確認します
表示分解能を変更する	詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 変更	詳細設定で表示分解能を変更します
表示の極性変更をする (カウント方向を逆向き)	詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 極性変更	詳細設定の表示分解能で変更します
直径表示にする(2倍の表示)	詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 直径表示	詳細設定の表示分解能で直径表示に変更します

※ 測長ユニットの出力分解能がわからな場合は、別冊の「初期設定マニュアル」を参照してください。

基本設定 ⇒ 測長ユニット分解能 ⇒ 変更

- ① 基本設定のモードにします。

ACアダプタが通電状態で  キーを“ON”

ランプが点滅→消灯に変わってから  キーを長押し3秒



- ② 表示が  の時は、 キーを3回押します。

表示が  の時は、 キーを2回押します。

表示が  (測長ユニット分解) になります。

- ③  キーを押すと、現在の測長ユニット分解能を確認できます。

- ④ 変更したい軸の  キーを押して測長ユニット分解能を選択します。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。

- ⑤ 基本設定から通常のカウントモードにします

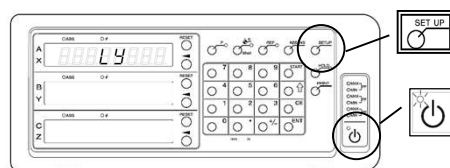
 キーを1回押すと、表示が  になります。

 キーを1回押すと、表示が  になります。

- ⑥  キーを1回押すと、自動的に詳細設定のモードになり表示が  になります。

 キーを押すと、通常のカウントモードになります。

LY72



基本設定のラベル設定で
ABC選択時



基本設定のラベル設定で
XYZ選択時



3軸の表示例



測長ユニット分解能の選択

標準	拡張
	
	
	
	
	
	
	
	

 キー
拡張

詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 変更

① 詳細設定のモードにします。

通常のカウンモード通電状態で  キーを押す

表示が  になります。

 キーを1回押し、 表示にします。

② キーを1回押し、各軸の表示分解能が表示されます。

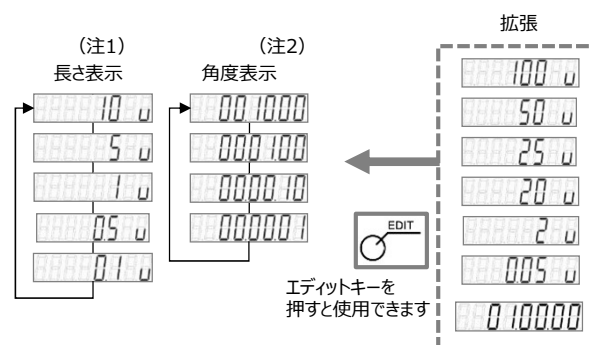
変更したい軸の  キーを押し分解能を選択してください。

2回に1回は  ランプが点灯し直径表示設定になるので注意してください。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。

通常のカウン状態に戻すには、 キーを押します。

表示分解能の選択



注1：基本設定の測長ユニット分解能より小さな値の選択は表示しません

注2：角度表示は、基本設定で角度分解能を選択時に設定できます

詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 極性変更

① 詳細設定のモードにします。

通常のカウンモード通電状態で  キーを押す

表示が  になります。

 キーを1回押し、 表示にします。

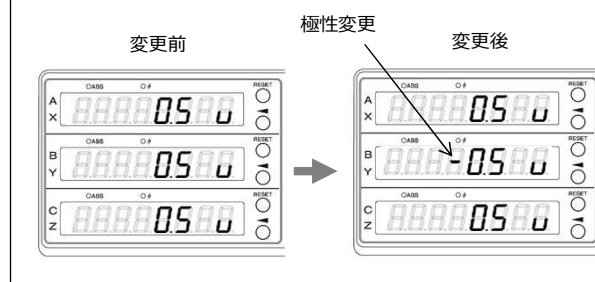
② キーを1回押し、各軸の表示分解能が表示されます。

極性を変更したい軸の  キーを押し、続けて  キーを押します。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。

通常のカウン状態に戻すには、 キーを押します。

中段の表示の極性を変更場合



詳細設定 ⇒ 表示分解能 ⇒ 直径表示

① 詳細設定のモードにします。

通常のカウンモード通電状態で  キーを押す

表示が  になります。

 キーを1回押し、 表示にします

② キーを1回押し、各軸の表示分解能が表示されます。

直径表示に変更したい軸の  キーを押し  ランプを点灯させます。

分解能が変わってしまったら、 キーを押しやり直してください。

選択が完了したら  キーを押し設定を保存します。

通常のカウン状態に戻すには、 キーを押します。

